



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 第一工業製薬株式会社

コード番号 4461 URL <http://www.dks-web.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大柳 雅利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 浦山 勇 TEL 075-323-5955

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	13,620	4.8	619	126.3	560	121.7	362	174.7
26年3月期第1四半期	12,999	△3.4	273	△35.9	252	△3.2	131	16.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 411百万円 (56.1%) 26年3月期第1四半期 263百万円 (652.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	8.48	8.46
26年3月期第1四半期	3.09	3.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	55,941	20,083	34.0	445.51
26年3月期	57,570	19,886	32.6	440.00

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 19,035百万円 26年3月期 18,787百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,700	4.6	1,300	76.0	1,200	75.5	700	78.8	16.39
通期	58,500	7.1	2,900	17.0	2,700	13.7	1,500	12.2	35.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	43,421,609株	26年3月期	43,421,609株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	694,124株	26年3月期	722,124株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	42,710,152株	26年3月期1Q	42,671,820株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益が改善し設備投資も増加するなど、緩やかな回復基調が続いておりますが、一方で、消費増税に伴う駆け込み需要の反動による弱い動きもみられます。

化学業界におきましては、エネルギー価格の上昇や基礎原料ナフサ価格の高騰が収益を大きく圧迫しており、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、この厳しい事業環境を乗り切るため、コア製品事業の拡販に努めますとともに、将来の成長分野である「環境」、「エネルギー」、「電子材料」、「生活資材」などの分野を中心に新規市場の開拓や新素材の開発に取り組み、原材料の安定的な確保や適正な採算確保、新コスト削減計画による総経費の削減活動などに取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は136億20百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益は6億19百万円（前年同四半期比126.3%増）、経常利益は5億60百万円（前年同四半期比121.7%増）、四半期純利益は3億62百万円（前年同四半期比174.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## &lt;界面活性剤&gt;

界面活性剤の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、ゴム・プラスチック用途の活性剤が順調に推移し、IT・電子用途の活性剤は好調に推移しました。石鹸・洗剤用途の活性剤は大幅に伸長しました。

海外では、ゴム・プラスチック用途及び繊維用途の活性剤が堅調に推移し、塗料・色材用途の活性剤は順調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は53億49百万円（前年同四半期比10.3%増）となりました。

営業利益は、売上高が大幅に伸長したことにより3億34百万円（前年同四半期比35.2%増）となりました。

## &lt;アメニティ材料&gt;

アメニティ材料の売上高は、堅調に推移しました。

国内では、セルロース系高分子材料は飼料用途がやや低迷しました。シヨ糖脂肪酸エステルは化粧品用途がやや低調に推移しました。

海外では、セルロース系高分子材料は医薬品用途がやや低調に推移しましたが、食品用途が堅調に推移しました。シヨ糖脂肪酸エステルは化粧品用途が順調に推移し、食品用途は好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は17億34百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

営業利益は、高付加価値品の売上高が好調に推移したことにより92百万円（前年同四半期比78.5%増）となりました。

## &lt;ウレタン材料&gt;

ウレタン材料の売上高は、総じてやや低迷しました。

土木用薬剤は公共工事の増加により好調に推移しましたが、重防食塗料用途は需要が落ち込みやや低迷しました。フロン規制に関連する環境対応型の合成潤滑油は順調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は20億68百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。

営業利益は、営業経費の削減により16百万円（前年同四半期は41百万円の損失）となりました。

## &lt;機能材料&gt;

機能材料の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、光硬化樹脂用材料は電子材料用途が好調に推移しました。臭素系の難燃剤は建築材料用途が堅調に推移しました。水系ウレタン樹脂はガラス繊維用途が低調に推移しましたが、フィルム用途は順調に推移しました。

海外では、光硬化樹脂用材料は電子材料用途がやや低調に推移しましたが、臭素系の難燃剤はデジタル家電用途の需要回復により大幅に伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は28億84百万円（前年同四半期比16.9%増）となりました。

営業利益は、売上高が大幅に伸長したことに加え営業経費の削減により1億75百万円（前年同四半期比611.0%増）となりました。

<電子デバイス材料>

電子デバイス材料の売上高は、総じて大きく落ち込みました。

射出成形用ペレットは順調に推移しましたが、太陽電池用途の導電性ペーストは大きく落ち込みました。

その結果、当セグメントの売上高は15億83百万円（前年同四半期比13.5%減）となりました。

当セグメントは、売上高は大きく落ち込みましたが、高付加価値品の売上高が順調に推移したことにより0.3百万円の営業損失（前年同四半期は8百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ16億28百万円減少し、559億41百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が6億25百万円、投資有価証券が3億81百万円増加しましたが、現金及び預金が22億71百万円、商品及び製品などのたな卸資産の合計が4億円減少しましたことなどによるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ18億24百万円減少し、358億58百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が9億86百万円、長期借入金が8億40百万円減少したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ1億96百万円増加し、200億83百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払2億98百万円、当四半期純利益3億62百万円、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響1億17百万円の計上などにより利益剰余金が1億81百万円増加したことなどによるものです。

また、自己資本比率は、前期末と比べて1.4ポイント改善し34.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月12日付で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に対応した優良社債の利回りを基礎とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加算しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が182百万円減少し、利益剰余金が117百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,200	6,928
受取手形及び売掛金	13,960	14,586
商品及び製品	6,394	5,985
仕掛品	51	50
原材料及び貯蔵品	1,676	1,685
前払費用	222	193
繰延税金資産	324	273
その他	1,398	1,421
貸倒引当金	△14	△7
流動資産合計	33,215	31,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,309	8,258
機械装置及び運搬具(純額)	3,805	3,640
工具、器具及び備品(純額)	432	421
土地	6,540	6,530
リース資産(純額)	636	883
建設仮勘定	168	153
有形固定資産合計	19,891	19,887
無形固定資産	453	620
投資その他の資産		
投資有価証券	3,184	3,565
長期貸付金	29	28
長期前払費用	344	325
繰延税金資産	110	52
その他	353	348
貸倒引当金	△12	△6
投資その他の資産合計	4,009	4,315
固定資産合計	24,354	24,824
資産合計	57,570	55,941

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,489	10,502
短期借入金	10,661	10,724
リース債務	249	327
未払法人税等	542	118
賞与引当金	503	337
未払事業所税	32	7
未払費用	218	266
その他	1,588	1,866
流動負債合計	25,284	24,151
固定負債		
長期借入金	10,018	9,178
リース債務	850	1,223
繰延税金負債	65	124
退職給付に係る負債	1,124	877
資産除去債務	71	71
その他	269	232
固定負債合計	12,399	11,707
負債合計	37,683	35,858
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,141	7,141
資本剰余金	5,470	5,471
利益剰余金	6,008	6,189
自己株式	△190	△182
株主資本合計	18,430	18,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72	203
繰延ヘッジ損益	△23	△21
為替換算調整勘定	243	167
退職給付に係る調整累計額	64	66
その他の包括利益累計額合計	357	415
新株予約権	15	13
少数株主持分	1,083	1,033
純資産合計	19,886	20,083
負債純資産合計	57,570	55,941



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	12,999	13,620
売上原価	10,467	10,746
売上総利益	2,532	2,874
販売費及び一般管理費	2,258	2,255
営業利益	273	619
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	1	2
持分法による投資利益	20	11
為替差益	36	—
その他	21	26
営業外収益合計	81	42
営業外費用		
支払利息	75	69
その他	26	31
営業外費用合計	101	101
経常利益	252	560
特別損失		
固定資産処分損	10	18
特別損失合計	10	18
税金等調整前四半期純利益	242	541
法人税、住民税及び事業税	59	81
法人税等調整額	23	80
法人税等合計	83	161
少数株主損益調整前四半期純利益	159	380
少数株主利益	27	18
四半期純利益	131	362

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	159	380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	131
繰延ヘッジ損益	△23	1
為替換算調整勘定	112	△82
退職給付に係る調整額	-	1
持分法適用会社に対する持分相当額	39	△21
その他の包括利益合計	104	31
四半期包括利益	263	411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207	420
少数株主に係る四半期包括利益	56	△9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ 材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス 材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	4,849	1,732	2,119	2,466	1,830	12,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,849	1,732	2,119	2,466	1,830	12,999
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	247	52	△41	24	△8	273

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ 材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス 材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	5,349	1,734	2,068	2,884	1,583	13,620
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,349	1,734	2,068	2,884	1,583	13,620
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	334	92	16	175	△0	619

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。